

聖書日課 『からし種』 2020.11.8-11.15

<p>11月8日 (日) 詩編 93編</p>	<p>「主こそ王。威厳を衣とし／力を衣とし、身に帯びられる。世界は固く据えられ、決して揺らぐことはない」(1節)。「主なる神こそ、世界を治める真の王！」と高らかに賛美するスケールに圧倒される。祈る時、私たちは世界を創られた主の偉大さをどこまで具体的に感じて賛美しているだろうか。主よ、今日、この世界を治めておられるあなたを感じさせてください！</p>
<p>9日 (月) 詩編 94編</p>	<p>「『足がよろめく』とわたしが言ったとき／主よ、あなたの慈しみが支えてくれました。わたしの胸が思い煩いに占められたとき／あなたの慰めがわたしの魂の楽しみとなりました」(18-19節)。神に逆らう言葉、傲慢な行為があふれる世界の中でよろめき倒れそうになる私たちのために、今日、慈しみと慰めを注いでくださっている方への信仰を新たにいただいて。</p>
<p>10日 (火) 詩編 95編</p>	<p>「主はわたしたちの神、わたしたちは主の民／主に養われる群れ、御手の内にある羊。今日こそ、主の声に聞き従わなければならない」(7節)。真の羊飼いである主の声に聞き、導いていただかなければ、迷いの中に道を踏み外してしまい、滅びを招いてしまう私たちがいる。「今日こそ」、誰の声に聞き従うのか。「命の言」として来て下さった方に心と体を向けて。</p>
<p>11日 (水) 詩編 96編</p>	<p>「新しい歌を主に向かって歌え。全地よ、主に向かって歌え。主に向かって歌い、御名をたたえよ。日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ」(1-2節)。主イエスは私たちに「新しい歌」を与え、喜びに生きる者としてくださる。主イエスの「栄光と力」(7節)、「真実の裁き」(13節)に心を向けて、この方と共に歩むことのできる喜びを心から賛美する一日となるように</p>

メール配信登録メール senfkorn.obc@gmail.com

大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2020.11.8-11.15

<p>12日 (木)</p> <p>詩編 97編</p>	<p>「神に従う人のためには光を／心のまっすぐな人のためには喜びを蒔いてくださる。神に従う人よ、主にあって喜び祝い」(11-12節)。主イエスは、この世界の隅々に生きる一人ひとりのために「光と喜びの種」を蒔き続けてくださっている。その種の成長を阻もうとする悪の働きが満ちている世界の中で、今日も祈りと希望をもって種を蒔き続けてくださっている。</p>
<p>13日 (金)</p> <p>詩編 98編</p>	<p>「主は来られる、地を裁くために。主は世界を正しく裁き／諸国の民を公平に裁かれる」(9節)。「こんなことがゆるさされているのか！」と思うことがあふれている世界。主がその「正しさ」と「公平」をもってこの世界を裁かれる。「あなたは正しすぎではない」(伝道の書7・16 新改訳)。自分の「正しさ」で誰かを裁いてしまうことなく、主の「正しさ」を見上げていきたい。</p>
<p>14日 (土)</p> <p>詩編 99編</p>	<p>「神は雲の柱から語りかけ／彼らに掟と定めを賜り／彼らはそれを守った」(7節)。荒れ野の旅を続ける中で信仰を見失い、迷い、おじまどうイスラエルの民に、主は「雲の柱」を通して語りかけ導かれた。今、この世界を生きる私たちにとって、昼も夜も共にある「雲の柱」とは何だろう。私たちのために示された「雲の柱」を心の中に思い描き、主の声を聴きたい。</p>
<p>15日 (日)</p> <p>詩編 100編</p>	<p>「喜び祝い、主に仕え／喜び歌って御前に進み出よ。知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。わたしたちは主のもの、その民／主に養われる羊の群れ。」(2-3節)。主への礼拝の中心は感謝。感謝の歌を歌いながら、主の庭に共に帰り、礼拝をささげたい。分散礼拝、オンライン礼拝という制限の中でも、主に呼び集められていることを喜びたい。</p>